



第1807回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.11

2011年 9月28日 (水)

事務所:田辺市下屋敷町81 - 10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30 ~

司会者 上原 俊宏 会長

唱歌

宇都 達裕 君
 " 故 郷 "



ゲスト

東大理学博士 鈴木 皇(ただす)様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	3名	15名	67.39%
9月14日修正出席率86.96%			

ニコニコ箱

(敬称略)

鈴木皇様、本日は宜しくお願い致します。
 平野、平尾、片井、楠本、丸山(博)、森本
 中川、中嶋、岡本、佐田、坂本、武田、竹村
 谷中、上原、吉田、吉本
 9月24日(土)米山奨学生と共に熊野川町にボラ
 ンティアに行ってきました。米山奨学生は女子学
 生8名でした。 玉置
 佐田さん、ホテルの部屋から出る時鍵をかけてい
 ました。普通のホテルは自動ロックです。 橋本
 お花頂きます。 木村

資格はない。

礼儀を知らなければ、人格の確立はない。
 言葉を知らなければ、人間としての発達は無い。と。

ところが、先日の23日、光速よりも速いニュートリノ
 が発見されたと報道されました。光の速度よりも0.002
 5%だけ速いという。現在の物理学は、光速よりも速い
 モノはないという前提で成り立っています。相対性理
 論では光速に近づくほど時間が遅くなると。
 つまり時間をさかのぼることは出来ないと言われていま
 す。今回の、この知見からは、始まりがあって終わり
 があるが、終わりがあって始まるがあることも可能で
 あるということになります。少し悩んでいます。

会長報告の前に・・・

始まりがあって、終わりがある。これがこの世の摂理
 であると信じています。人生にも、地球にも、宇宙に
 も始まりがあるので、いつか終わりがあると思ってい
 ます。
 先日、論語の始まりとしての学而をのべました。本
 日は論語の終わりを述べようと思います。内容的にも対
 語的になっているようです。

子曰、不知命、無以為君子也、不知礼、無以立也、不
 知言、無以知人也

子曰わく、命を知らざれば、以て君子と為す無きなり、
 礼を知らざれば、以て立つ無きなり、言を知らざれば、
 以て人を知る無きなり。

子曰わく、天命(運命)を知らなければ君子としての

会長報告

本日のゲストは、東大理学博士の鈴木皇(ただす)
 様です。後ほど宜しくお願い致します。

台風12号により被災された新宮RC、那智勝浦RC、
 本宮プロバスクラブ、龍神プロバスクラブにお見舞
 い金を贈らせて頂きました。
 26日に、本宮プロバスクラブ会長の辻坂真様より事
 務局にお礼のお電話がありました。会長並びに会員
 の皆様にお礼をお伝えください、との事です。
 新宮RCの事務局からと、那智勝浦RCの事務局か
 ら、お礼の電話がありました。27日に龍神プロバス
 クラブ会長の古久保克巳様よりお礼状が届いていま
 す。回覧していますので、お目通しお願い致します。

昨年11月の例会で卓話して頂きました、1997-1998年
 財団奨学生 田辺めぐみ様(富田林RC推薦)より、

「被災されました方への支援にお役立て願いたい」との
の便りと共に、支援金が送られてきました。

先週の例会後に、「三十七年度週報輯」を田辺市図
書館 2冊、南部図書館 1冊、県立図書館 2冊、上
富田町図書館 1冊毎、寄付して参りました。

県立図書館よりお礼状が届いていますので、掲示板
に貼っています。

本日は奉仕食となっております。ご協力宜しくお願
い致します。

幹事報告

例会日時変更

海南東RC 10月3日(月)

10月3日 19:00~(時間変更)

場所:海南商工会議所4F

御坊南RC 10月4日(火) 休会

御坊東RC 10月5日(水) 休会

和歌山南RC 10月21日(金)

10月20日(木) 18:30~

場所:ダイワロイネットホテル和歌山4F

(和歌山城南RCとの合同例会)

和歌山北RC 10月24日(月)

10月23日(日) 12:00~

場所:ルミナス神戸2船上 <秋の親睦家族例会>

10月31日(月) 休会

高野山RC 10月14日(金)

10月17日(月) ガバナー公式訪問

10月21日(金)

移動例会「ロータリー100年の森林」除草作業

10月28日(金)

移動例会 職業奉仕見学

メークアップ

9月27日(火) 田辺はまゆうRC 中川文恵君

回覧

・「JCニュース9月号」

・南方熊楠顕彰会より「南方を訪ねてin日光」「第8回
南方熊楠ゼミナール」のお知らせ

・地区のGSE委員会より「財団研究グループ交換報
告書(3720地区との)」のDVD

掲示

・やおき後援会より事務局移転のお知らせ

連絡

・11月9日(水) 18:00~移動例会を開催いたします。

東急ハーヴェストクラブ南紀田辺に於いて(持ち回

り理事会において承認)

・10月のロータリーレートは1ドル=78円です。

・来週の例会から10月に入りますので上着着用での出
席をお願い致します。

委員会報告

親睦委員会 安井忠雄君

10月1日の花火大会ですが、雨天の場合は翌日とな
ります。

新世代委員会 坂本正人君

9月24日(土) 米山奨学会より

玉置君、坂本君

台風12号で被災された熊野川町の
住宅2棟に、ボランティア活動と
して掃除に入りました。2640地区
のガバナー補佐 汐崎さんをはじ
め、ロータリアン8名と奨学生9名
の総勢17名で午前9時~午後8時ま
で頑張って参りました。

一言では申し訳あげられませんが
「かわいそうです。」



ボランティアに参加の皆様、本当にご苦労様でした。辛い時こそ助け合いの精神を大事にしたいですね。

本日のプログラム

～地震や津波はなぜ起こる～ 『天災は忘れた頃に来る』



上富田町岩田 深和ホーム 鈴木皇様（東大理学博士）



J R 新庄駅の入口にある南海大地震津波記念の石柱。
上方両横に津波の高さが刻まれる。

私が生まれたのは大正の末で、関東大震災「1923(大正11)年」から数年後でした。それから20数年、戦争の壊滅的な被害は日本全国に及び私の家は全焼しました。敗戦の傷がまだ癒えない1946(昭和21)年12月に南海大地震と大津浪。この時ちょうど私は大学で津浪の研究[寺田寅彦の影響]をしていたので 早速 尾鷲から紀伊半島の沿岸、さらに四国に渡り東南の海岸を高知まで徒歩で1月近く津浪の被害を調査しました。[写真参照]それから50年、突然、1995(平成7)年1月に 阪神淡路の大震災。

その年の夏に 私たちは東京から移住して来ました。深和ホームには罹災した人々が避難生活を続けていました。その人たちにすまないとは思いつつ、私たち夫婦は、長年住み慣れた大都会よりは、温暖な自然と人情の深い南紀に魅せられて、岩田の深和ホームに永住することにしました。 やっと安住の地を見つけ、老後を楽しく過していたところ、今度は東北東沿岸の巨大地震と大津波。

『天災は忘れた頃に来る』という寺田寅彦の名言のとおり、90年にも満たない間に、日本は、数十年毎に大きな《天災》に見舞われ、私たちは(戦災は別として)幸いにも直接の被害は受けませんでした。自然の恐るべき力と甚大な惨害を見聞することになりました。

Q 地震はなぜ起こるのですか？

A 地面(地殻)が[たえず]流動しているからです。

『動かざること大地のごとし』という言葉があります
大地はドッシリと不動で地上の万物を支えています。

しかし実は地殻[地表から数10km]は常に流動しているのです。ワザト流動という言葉を用いましたが、動く範囲は大陸が乗っているくらい広く、動く速さが1年間に10cmくらいと小さいので、誰も気づかないだけです。その動く大きな基盤が[プレート](板)と呼ばれています。地球の表面は、海底もふくめて、北米プレート、太平洋プレートなどいくつかのプレートに分かれています。プレートの下は「マントル」とよばれる固い岩石なのですが、実はアスファルトのように粘性でゆっくりと流動します。その原動力は、地球内部の大半には[溶鉱炉と同じ]溶けた高温の鉄が渦まいています。その外側にあるマントル(外套)が、対流して鉄の熱を放散しています。その結果、それぞれのプレートは境目で衝突して、互いに潜り込み盛り上り、小地震や造山活動が起こり、エネルギーがあるていど溜まると、急にプレートの端が跳ね上り、巨大地震や津浪が生ずるのです。

大半には[溶鉱炉と同じ]溶けた高温の鉄が渦まいています。その外側にあるマントル(外套)が、対流して鉄の熱を放散しています。その結果、それぞれのプレートは境目で衝突して、互いに潜り込み盛り上り、小地震や造山活動が起こり、エネルギーがあるていど溜まると、急にプレートの端が跳ね上り、巨大地震や津浪が生ずるのです。

